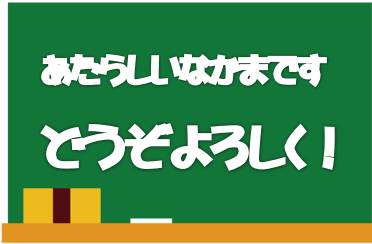




オリーブ通信

2017年
12月号
2017.12.16発行
第194号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

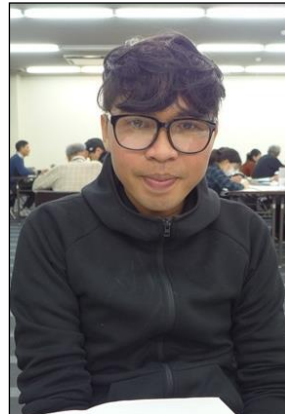


※敬称略

撮影日に会えなくて写真を撮れなかった人もたくさんいます。すみません。



チェーン関(タイ)



マーロン(フィリピン)



エステベン(フィリピン)



クアック・ヴァン・コック(ベトナム)



アミル・サプリアンティ(インドネシア)

番外



帰国する何さん(左)と、別れの握手をするライモンさん(右)。何さん、サヨナラ、元気でね。

中川先生のへんてこ日本語

89

結構です

スーパーの文具売り場で赤ペンを買い、レジへと向かった。若い店員さんが「テープでよろしいですか」と聞くので、「ええ、結構です」と答えたら、なぜか袋に入れられた。どうやら「結構です」の意味が変化しているようだ。

先日テレビでこんな紹介があった。旅行会社に電話で団体旅行の予約をしたところ、「オプションはどのくらいですか」と聞かれて、「結構です」と言ったら、後日数十万円の請求が来たというのだ。つまりここでの「結構です」は「いらぬ／不要だ」のはずだったのに、会社では「素晴らしい／必要だ」の意味にとったようである。

こんな話を大学のゼミ生にすると、「微妙」と返ってきた。大学生の世代では、「結構です」の意味は確実に変化しているようだ。「大丈夫」然り。肯定か否定かは、状況の流れによる。対面で会話しているならまだしも、電話やメールでは、相手の表情や動作が捉えられず、誤解はますます生じやすくなる。それに加えて、たとえ対面で会話するにしても、応答がマニアル化してしまい、相手の顔を見ることがない。

そもそも日本語は「状況依存型言語」であるため、場面や会話の流れに注意を払わなければならないはずなのに、会話の楽しみ(駆け引き)を忘れてしまったかのようで、「とても結構」とは思えない。上の「とても」と、「非常に／たいへん」の意味にとられてしまいうだ。

結構なものをおいただきましたという定番の挨拶も、「つまらないものを…」と理解される日が近いのかもしれない。こんな日本語、「結構」多いのでは？



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良



オーブ | icoまご バズツアー「森の中でオノマトペ」!



11月12日曜日にみんなで東近江市の河辺いきものの森に行きました。全部で43名の参加です。前日はパラパラと雨もふっていてとても心配だったのですが、当日はとてもお天気がよく、とてもきれいな秋空と森の景色を楽しむことができました。

森についてまず一番はじめに、河辺いきものの森の職員さんに森の説明をしていただきました。森の中にどんな生き物がすんでいるか、森の中で生き物に出会ったらどうするか、わかりやすく教えてもらいました。そのあとは、森のあちこちに設置された問題をグループに分かれて解いていきます。問題は前日に勉強したオノマトペを使ったものや森に関するクイズです。

とくにオノマトペは、森の中で、実際に触ったり、聞いたり、体感したりしながら考えることができました。クイズのあとは、みんなでバームクーヘンづくりです。

みんなでそれぞれ役割を分担し、協力しながらバームクーヘンを作り上げます。もうすこし竹をあぶる?竹の回転速度は?バームクーヘンの生地量は?みんなでわいわいと意見を出し合いながら作ったバームクーヘンは温かい紅茶との相性も抜群でとてもおいしかったです。ふだん話したことのない、たくさんの人とお話をすることが出来てとても楽しかったです!

レポート：吉田

楽しかったです。森の人はねっしんだし、やさしいです。ありがとうございます。
ハーミンさん (ベトナム)



今日はたのしかった。あさのゲームおもしろかった。ちいさいかえるみた。ともだちいっぱいあいます。みんなでバームクーヘン楽しかった。
デーさん (タイ)

今日は楽しかったです。いろいろな動物日本語で覚えめました。作ったケーキが美味しかったです。お世話になりました。ありがとうございます。
トウエンさん (ベトナム)



あたらしい しりあ い ひとつ はなせるですから うれしいです。とてもたのしかったです。ケーキもおいしかったです。ライモンさん (インドネシア)

今日はいろいろことばをおぼえて、いろいろな国のひとつしりあって、よくにほんごではなしました。じぶんのグループの人といっしょにケーキを作ってたのしかったです。
黄秀さん (中国)



オリーブゆかりの人を紹介 竹内シェイラさん

11月12日から26日まで大津のピアザ淡海で「ブラジルのつながりを持つふたり展」が開催されていました。ふたりのうちのひとりがオリーブゆかりの竹内シェイラさん。シェイラさんは服やベッドカバーなど手編みニットの作品を出展されていました。

彼女が初めてオリーブに来たのは1995年だったか、オリーブを設立して間もないころでした。なんと20年以上の付き合いがあります！シェイラさんはサンバが得意で、1998年から3年間オリーブのダンス好きメンバーにサンバを教えてくれています。そして、日本人スタッフやブラジル人学習者でサンバチーム「アルコ・イリス」を結成、県内あちこちで踊りを披露したのもすてきな思い出です（わたしは踊れないのでマネージャーやってみました）久しぶりに連絡を取り、彼女と待ち合わせ、展示を一緒に見て、改めていろいろ話を聞きました。

シェイラさんは日系3世のブラジル人、5人兄弟の末っ子で、小さいころから踊るのが好き、編み物も好きで家族にセーターをプレゼントしたりしていました。また、中学生になると既製服も、染めたりレースで編んだ襟をつけたりアレンジを加えていたそうです。でも、一番好きなのは演劇。ブラジルで演劇学校を卒業し、アマチュア劇団に所属していました。その劇団でもみんなの衣装を手作りしたりしていたそうです。1990年に来日。日本に来る前は銀行で働いていて、2年ぐらい日本で仕事をしてお金を貯めたらブラジルにもどって演劇をやりたいと考えていました。が、2年後日本人男性と知り合い結婚、以来日本に住み続けています。来日したときは「ありがとう」と「さよなら」しかわからなかった日本語は、ひとりで毎日1時間勉強してひらがなを覚え、オリーブでも勉強を続け、今は日本人との会話に困ることはありません。

現在、派遣会社所属して工場で働いていますが、仕事が忙しくないときはいつも編み物をしているそうです。編み物のほかにも、これまでビーズアクセサリーを作ったり、ネイルアートを勉強して友人たちの爪をおしゃれに飾ったりと、元来手先が器用で、根気よく、創造力があるシェイラさん、多彩な趣味から生まれる作品ははまわりの人たちにも譲られ重宝されています。

そんな彼女の未来図は、夫と一緒にブラジルにもどること。今はブラジルの社会、経済状況がよくないので、もどれないとのことですが、いつかはブラジルに帰り、また演劇をやりたいと話してくれました。

インタビュー：恩地美和



先生たちのルーエッセイ #15 花岡由縁さん



他県から草津に来て1年になります花岡です。
新しい環境に慣れるには、交流の場に積極的に参加するのは大切です。
みなさんもお仕事しながら日本語の勉強大変だと思います。
日本語を理解できても返事を返すのは難しい。壁に当たります。
でも、誰かと何かを楽しむことを最初に強く意識すれば、言葉の壁がぐっと低くなります。
自分が興味を持つ交流の場に参加することも大切です。
なぜなら、人は誰でも自分自身が好きなことは話しやすいからです。好きなことに関しては、身振り手振りを駆使し、持っている知識を総動員して伝えようとしてます。
話題の種は無数。熱い気持ちを分かち合ったときの喜びはひとしおです。ときには、話の内容が自分の言語能力を超えていくこともあります。そのようなときこそ、気づかぬうちに自分の力をもう一段階引き上げるチャンスといえます。
私もニーズをひとつひとつ把握し、適したサポートが行えるようスキルアップして行きたいと思います。講師のみなさん、宜しくお願いいたします。

生徒のみなさん、興味があることや勉強したいこと文化や伝統の違い教えてくださいね。
楽しく日本語能力の向上を目指していきましょう。



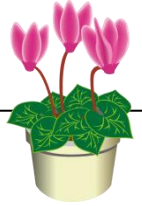
先月の活動(11月)

日本語教室 11/11(M),18,25 (3回)
 バスツアー「森の中でオノマトペ」 11/12(日)
 まちセン施設部会 11/21(火) (前田)
 まちセン周年イベント実行委員会 11/27(月) (前田・恩地)
 BNN 運営委員会 11/4(土) (内田幸)
 KIFA 日本語指導者養成講座
 11/5(日) (恩地・前田) 11/19(日) (恩地・内田幸)



今月の活動予定(12月)

日本語教室 12/2(M),9,16 (3回)
 まちセン全体会 12/1(金) (前田)
 KIFA 日本語指導者養成講座 12/3(日) (恩地・津田)
 介護の現場で活躍する外国人の人の語り 12/15(金) (恩地・内田千・後藤・花岡)
 BNN 運営委員会 12/9(土) (内田幸)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(11月)

	11/11	11/18	11/25
生徒	33人	29人	32人
先生	23人	21人	20人



会員の動き(11月)

〈入会〉^{はなおかゆかり}花岡由縁 11月11日 ※3Pのエッセーに登場!
^{ひさまつひろこ}久松寛子 11月25日
^{かわむらやすまさ}河村康将 11月25日
 〈休会〉〈退会〉〈賛助会員〉なし



お知らせ

あなたの国の特別な行事と食べ物 (文化庁助成講座)

日時：2018年1月20日(土) 19:00~21:00
 場所：オリーブの教室(まちづくりセンター2F)
 内容：学習者の国別グループが自国の特別な行事を紹介、食べ物をみんなで試食する。歌や踊りも披露する。

多文化共生フォーラム

～多様性のもたらす豊かな地域社会へ～
 日時：2018年1月21日(日) 13:30~16:00
 場所：草津市役所 特大会議室(2F) 予定
 定員：60名(先着順)
 内容：①先進地事例発表&外国人体験発表とワークショップ
 参加費：無料
 申込み：草津市国際交流協会(KIFA)
 077-561-2322
 kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

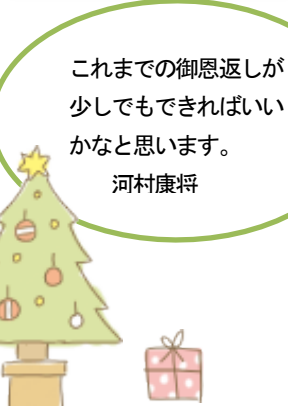
第14回 BNN

外国人による日本語スピーチ大会

日時：2018年3月4日(日) 12:40~16:30
 場所：ひこね燦(さん)ばれす
 内容：第1部 外国人による日本語スピーチ大会
 第2部 交流会
 参加費：無料 申し込みもいりません
 問合せ：びわこ日本語ネットワーク事務局
 077-523-1061
 bnn.biwako@gmail.com



日本語を教えるのは初めてですが、みなさんと楽しく勉強、おしゃべりしたいです。音楽を聞くことが好きなので、オススメがあれば教えてください。よろしくお祈りします。
 久松寛子



これまでの御恩返しが少しでもできればいいかなと思います。
 河村康将



アンケートをとる宮辻さん



〈後期編集〉

11月18日、同志社女子大学の学生、宮辻さんが、卒業研究で地域日本語教室の学習者にアンケートを取りたいと、オリーブに来られました。地域の日本語教室での漢字教育を主に調べたいということでした。オリーブにはときおりこのような依頼がありますが、できるだけ協力しています。日本に住む外国人の方たちの支援につながればと考えているからです。
 これからも皆さんのご協力を願います。(MO)